

(別表) 選考基準

審査項目	審査内容
1. 会社概要	<p>①会社の事業方針、業務内容等が本市の業務目的の達成に適しているか。保育園等での児童への英語活動という特殊な業務であるという観点で相応しい考え方であるか。</p> <p>②保育園等の英語活動についての会社の理解度はどうか。幼児期における英語活動のカリキュラム、指導法、教材等に関する独自の研究体制はどうか。</p> <p>③法令遵守体制は適切か。</p>
2. 英語活動等受託実績	<p>①直近の 5 年以内に、公教育等における外国語指導業務委託の実績をどのくらい有しているか。その内容はどうか。</p>
3. 英語活動講師の確保体制	<p>①本事業に要する講師が確保できるか。</p>
4. 英語活動講師の採用体制	<p>①講師の採用体制、採用基準、採用方法が業務の履行に適しているか。</p> <p>②講師の雇用人数と実働人数及び経験年数が 1 年以上の人数はどのくらいか。</p>
5. 英語活動講師の研修体制	<p>①講師の採用から業務を行うまで、及び業務を開始してからの研修が適切に行われるか。</p> <p>②児童の実態に応じた指導が適切に行えるよう研修がなされているか。</p>
6. 英語活動講師の管理体制	<p>①講師の労務管理体制（遅刻、セクシャルハラスメント、飲酒運転等の防止等）、サービス状況に関する体制は具体的かつ十分であるか。</p> <p>②勤務状況の把握、勤務評価の方法、会社との連絡体制は適切であるか。</p>
7. 業務履行場所との連絡体制	<p>①保育園等との連絡体制（保育園等からの要望、苦情などへの対応方法）は適切か。</p> <p>②緊急時や業務内容の変更に対し、迅速な連絡体制が整備されているか。</p>
8. 危機管理体制	<p>①欠員が生じた場合の補充体制、事故や災害等に関する管理体制や保障体制は適切か。</p>
9. 英語活動講師の効果的な活用提案	<p>①保育園等英語活動における講師の活用提案、授業以外での講師の効果的な活用方法について、事業者の考え方や内容はどうか。</p>
10. 経費	<p>①予算措置額の範囲内であるか。また、妥当な額であるか。</p>